

ウォーキングクラブ 11月定例会・南山公園からみだけの森

実施日：2023.11.09



先週の25℃以上の夏日も今週に入れば、二四節季の立冬に至り陽気も落ち着き随分過ごしやすくなり気分爽快にウォーキングができました。

名鉄金山駅に男性4名、女性2名の6名が8時25分に集合し、御嵩駅は無人駅で何時もと違いmanacaは利用せず、久しぶりに厚手の切符購入です。特急8:34 犬山行きは生憎のラッシュアワーで大変な混みようでしたが、新名古屋駅で全員座る事ができました。犬山駅と新可児駅で乗換、9:50に終点御嵩駅で下車しました。客待ちのタクシーを眺めながら、あまり人影の無い長閑な駅前の中山道御嶽宿の辻を右に折れ、緩やかな流れの可児川を渡ります。

新興住宅地と耕地整理の田圃に真直ぐに南に伸びた広い町道をコンビニに寄り道して、国道R21 交差点を横断し、やがて南山公園の入り口のスロープを上れば、やがて運動公園に至ります。

公園には屋内プール施設の他、児童公園には長距離の滑り台や遊具が見られます。丘の上れば芝生広場の天望地があり、北を望めば御嶽宿が箱庭の様に俯瞰できます。その先には木曾川左岸の丘陵の山並みが展望でき、全方向をぐるりと取り巻いた里山の穏やかな山並みを眺める事ができました。低山ながら山頂近くでは幾分紅葉が始まり、だんだら模様が望めます。

芝生広場を横切り一旦南山溜池に下ります。土堰堤を左に見て溜池の下草刈り後の岸边を行けば秋葉神社参道を辿ります。急登の岩場の丸太階段はすり減り時の経過を知ります。幾分坂も緩くなり石畳みに風化した小さな石の鳥居には鑿の痕跡で明治三年と読み取る事ができました。ここで息を整えて、これより岩道を辿ればやがて秋葉神社に到着。小さな祠にはお餅や蓮の実を利用した可愛い手芸品が奉納されています。祠の左には綺麗な割目の巨石があり、紙垂による注連縄が周囲に結界を表しています。地元の方に篤く信仰されている神域であり、強いスピリチュアルを感じました。

小高い秋葉神社を下れば、湿地帯の木道があり植物観察路がありましたが、木道は腐食して危険な状態でロープによる通行止めの表示がありました。

やがて山頂手前の東屋で休息を取り、林道と兼ねた東海自然歩道に合流し、芝生の展望地に至りました。東方面が開け足元にはグリーンテクノみだけ工業団地を俯瞰、その先には瑞浪・恵那の里山の稜線が望めます。その先には雲か恵那山が迷う大きな山陵を展望しました。この様な雄大な眺望を満喫すれば岐阜まで来た甲斐があります。幾らかハードなウォーキングをすればお腹も空きランタイム予定地の芝生広場に下ります。貸切状態の秋葉溜池の湖畔の東屋でのんびりランチタイムです。今回は参加者も少なく気心と全員の体調が身近に感じられ、安全安心ウォーキングの余裕ができました。

帰り道では「湖畔の径」「ささゆり群生地」「菖蒲園」「あじさいの径」等を辿り、管理棟に寄り山野草のパネルや木による素朴な工作等見学し色々学習させていただきました。

帰路はのんびり雑談しながら「蜘蛛の巣のオスメスの違いと生態」「お茶の花と実の観察」「茸や猿の腰掛の観察」「渡海のギフチョウとカンアオイ」等の蘊蓄話を聞き納得です。また、休耕田に設置されていた猪捕獲器に遭遇して「今年は山の木の実が少なく熊の出没と保身対策」の話を聞く事ができました。



山里を下って国道 R21 を渡り、右に御嶽宿の大きな案内看板を眺め、中山道御嶽宿の古民家 cafe「わいわい館」でティータイムです。ホットコーヒーには小さなクッキーが二つ、後で店のご主人から色々な菓子パンが用意されていて小生はカレーパンを所望し、それを含めて¥400 とは美味しくてコスパの良いお店でした。お腹が膨れたところで歴史資料館「中山道みたけ館」に寄り道です。館内を巡れば戦国時代の武将の明智光秀をはじめ、森蘭丸・可児才蔵等数多の武将の出身地であり、郷土史が好きな方のウォーキングコースの案内もありました。また、お城マニアには美濃金山城跡・明智城本丸跡・御嵩城址公園等見所も多数あるようです。この他、駅の対面角には古刹の大寺山願興寺がありました。仮設建物で覆われた本堂は解体修理による建築中で残念ながら見学はできません。弘に 6 年(815)、最澄によって開創されたとされる天台宗の寺院で安置されている薬師如来像は国指定の重要文化財です。

他にも寄れば興味が湧く商家竹屋などありましたが、後ろ髪を引かれる思いで時間も過ぎ、御嵩駅 14:27 発に乗車して帰路につきました。本願寺町の我が家には 16 時過ぎに帰宅。因みにスマホ歩数計によれば 15,500 歩、距離 11.1km でした。(写真提供: 30 期 北川 健一・27 期 稲田 順子)

